

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

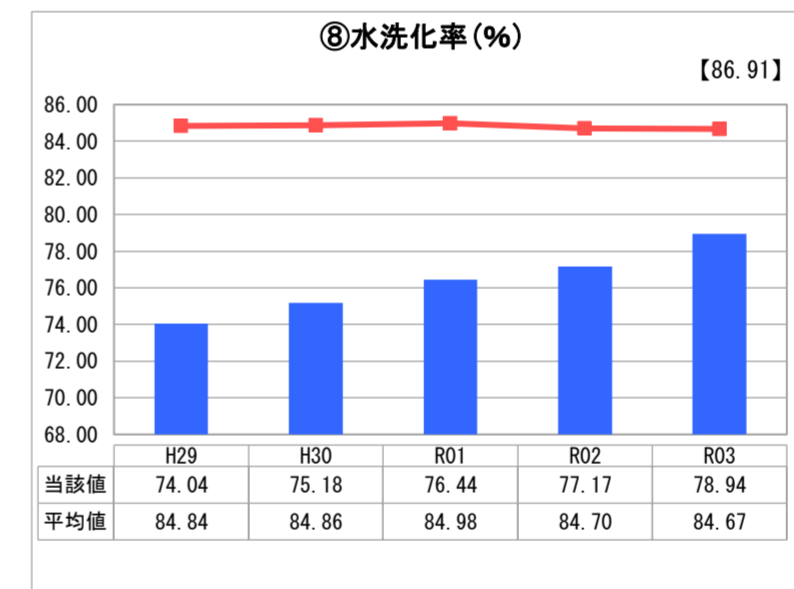
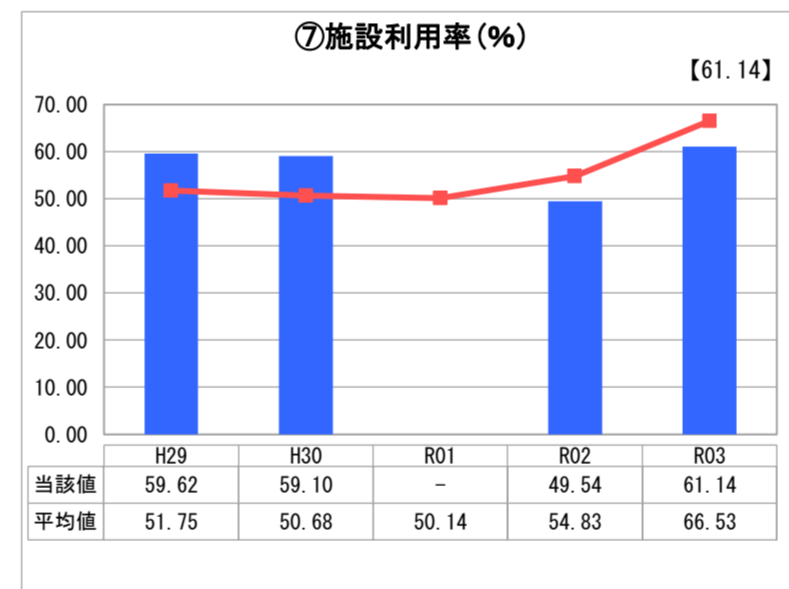
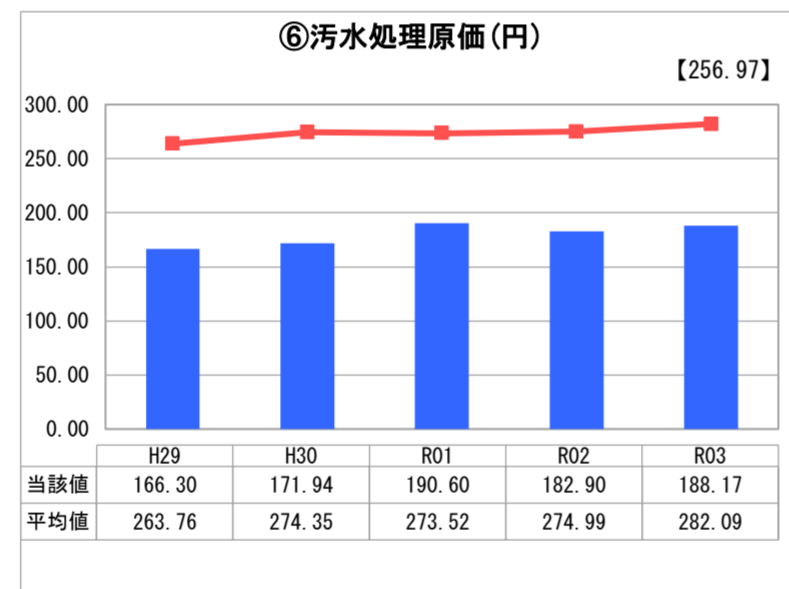
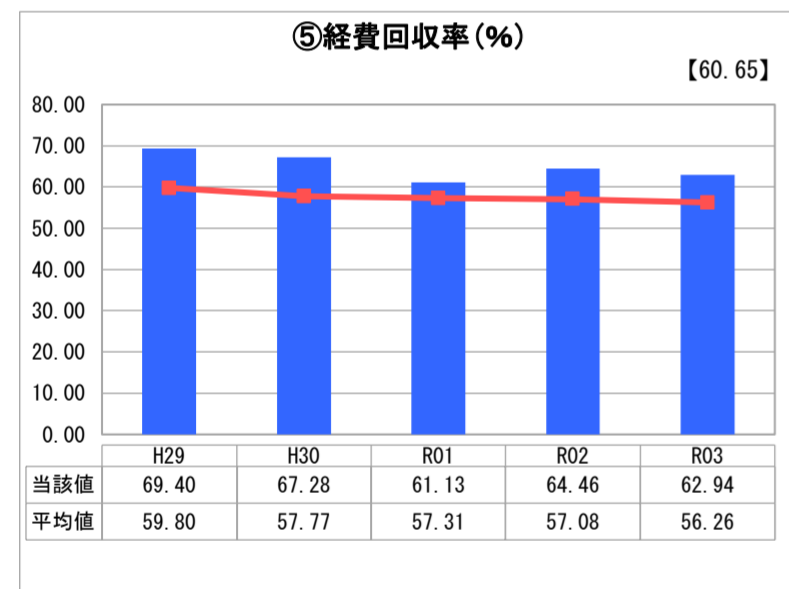
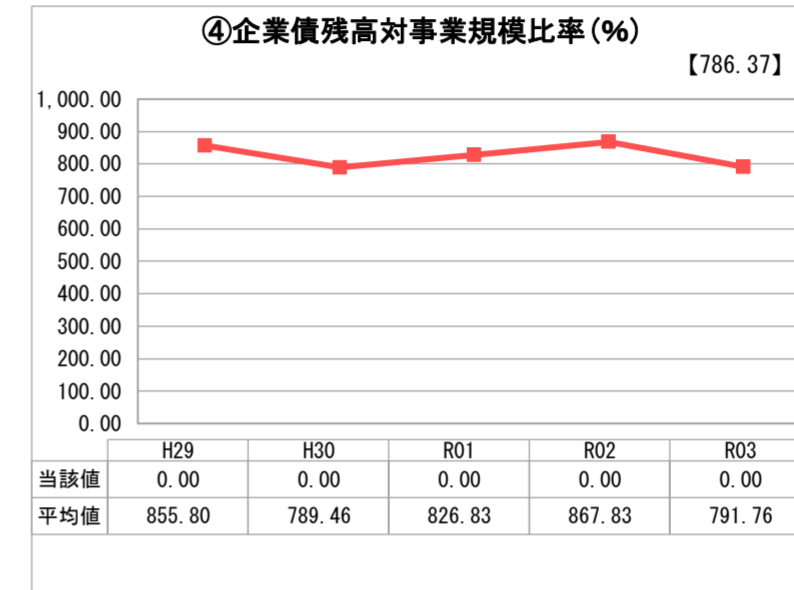
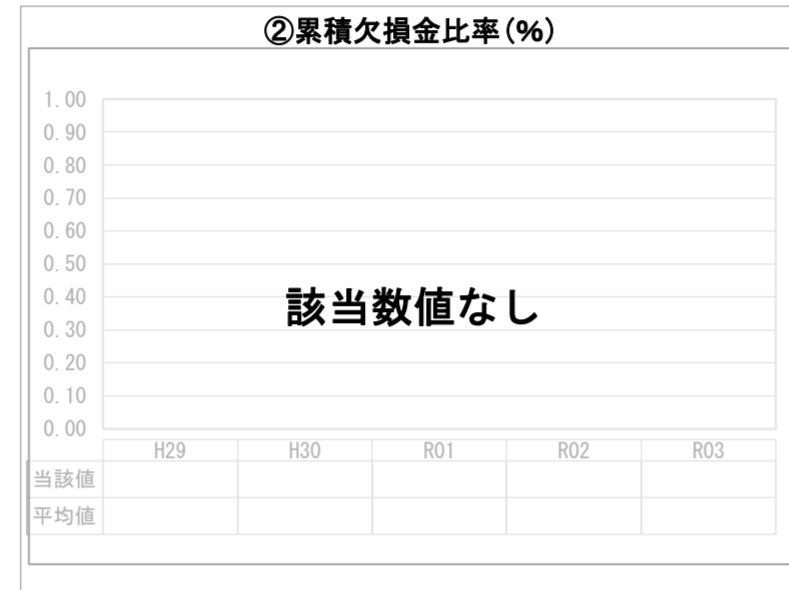
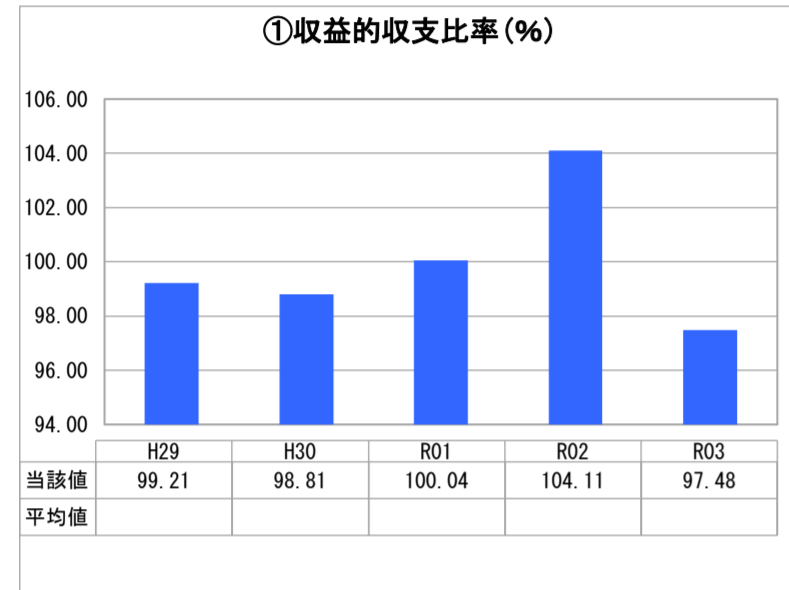
栃木県 上三川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	17.45	86.98	2,200

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
31,177	54.39	573.21
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,428	2.90	1,871.72

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

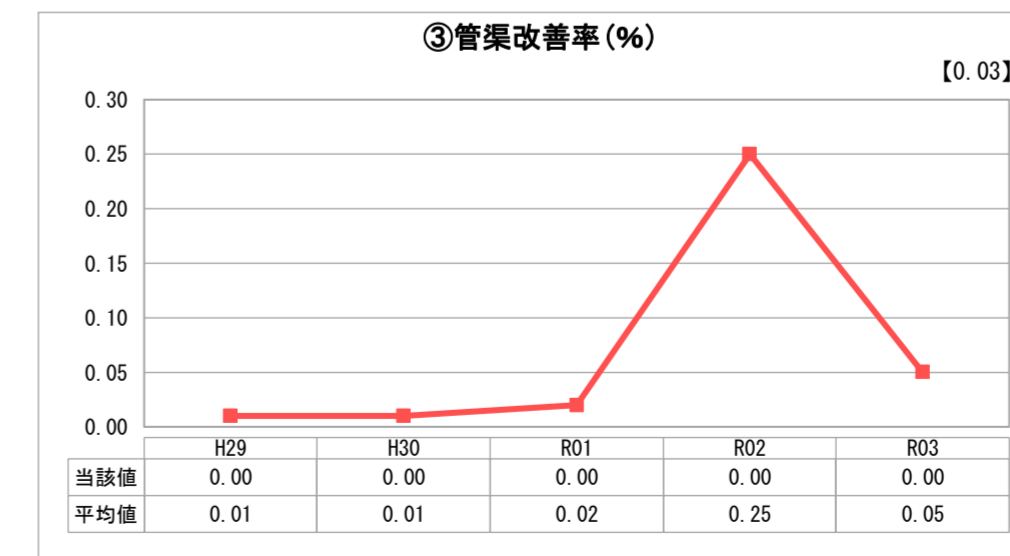
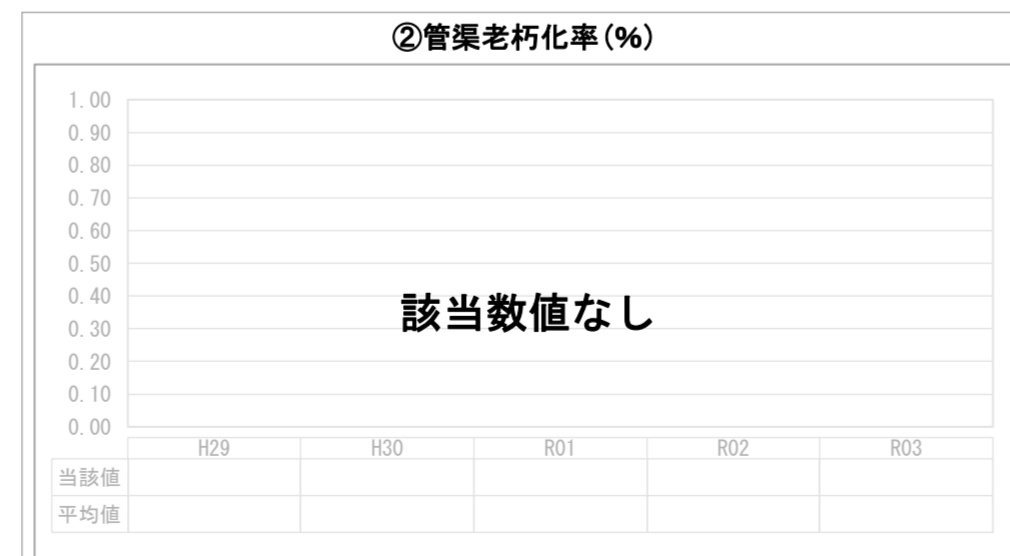
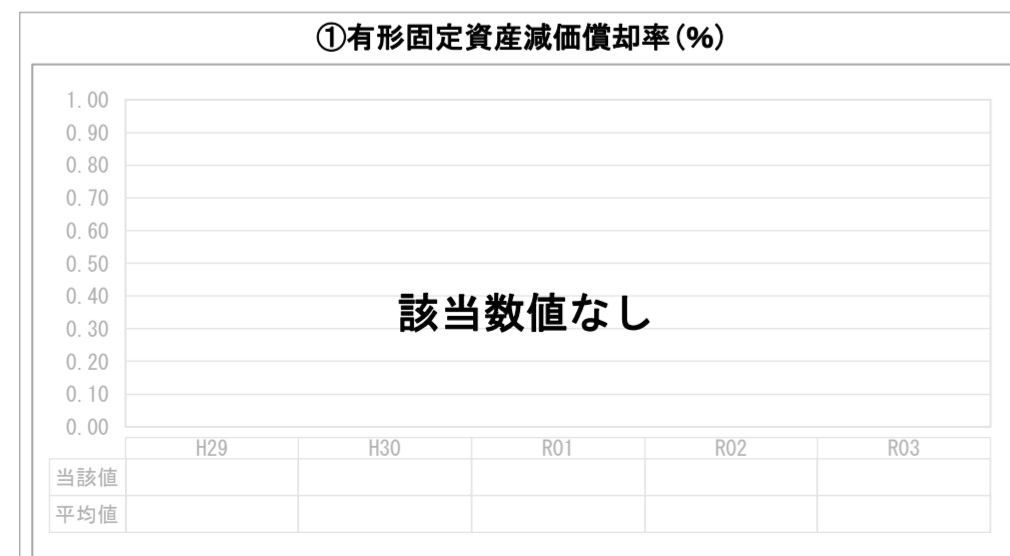
### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は100%を下回ってしまっ  
た。また、経費回収率は類似団体平均値を上回っている  
状況ではあるものの約6割と、汚水処理に係る  
経費を使用料で賄えていないため、経費削減に努  
めるなど今後も経営改善に向けた取組が必要であ  
る。  
汚水処理原価は類似団体平均値を下回っている  
が、引き続き接続率の向上により有収水量の増加  
を図る取組が必要である。  
施設利用率は、本年度より計測ができるように  
なった。正確な数値を計測していた年度と比較し  
て、横ばいとなっている。  
水洗化率については年々微増しているものの、  
依然として低い水準であるため、今後も引き続き  
戸別訪問を実施するなど、水洗化率の向上を目指  
していく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

平成14年に供用開始をしてから19年経過し  
ているが、耐用年数を経過している施設はまだ無  
いため、改修が必要な状況ではない。  
そのため、現在は老朽化対策等を実施してい  
ないが、今後は排水処理施設の機能診断を実施す  
ると共に経営戦略を踏まえて、計画的に対策に取り  
組んでいく必要がある。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

経営の健全性・効率性については、類似団体平  
均値と比較して概ね良好な数値を示しているが、  
引き続き維持管理費等の削減に努める必要があ  
る。  
併せて、水洗化率の向上や有収水量の増加によ  
る料金収入の確保を図るなど、更なる経営改善も  
必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。